

(別紙4(2))

事業所名 グループホームきらり

目標達成計画

作成日: 令和 7 年 12 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	9	○思いや意向の把握1人暮らし 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討しているが本人が理解できる目標を掲げる。	「元気で長生き」をするために何をすればよいか、本人が理解できる目標を作成する。	・正月書初めで、元気で長生きするために、日々何をするのか、本人が考えて書初めする。 ・ホールに 貼り、日々取り組む。	1年間
2	3	○運営推進会議を活かした取り組み 利用者やサービスの実際について報告だけでなく、食事を提供し、そこでの意見をサービス向上に活かす。	普段の食事の様子が伝わるよう、昼食試食会を企画する。	・年4回の運営推進会議のうち、1回に昼食試食会を取り入れる。 ・R7年度の家族会で昼食試食会を開催する。	1年間
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。